

平成 26 年度事業報告

堅調に推移してまいりました国内の出荷台数は第 1 四半期こそ対前年比 3.4%増と好スタートを切りましたが、年間では 525,980 台、対前年比 0.5%減（一般社団法人日本補聴器工業会まとめ）に留まり、停滞した 1 年間でした。景況に左右されにくいと言われている補聴器においても 4 月からの消費税アップの影響を受けてしまったのかと思われたことは大変に残念なことでした。補聴器には消費税が免除されていることが社会に十分知られていなかったからでしょうか、それとも、未だ生活必需品として確実に位置づけされるに至らなかったからでしょうか。私たち NPO 法人日本補聴器技能者協会は、率先して適切なフィッティングで補聴器を供給し、広く社会に真の補聴器の姿を知っていただく努力をしていく必要があります。

平成 26 年度はユーザーに一層の「安心・安全」をご提供できる補聴器技能者の育成を重点事業として位置づけし、平成 25 年度に制定した「販売店における補聴効果の確認法」の周知活動と、さらにその実技研修を一般社団法人日本補聴器販売店協会と協力し精力的に行ってまいりました。また、当協会が制定している「販売時における補聴器フィッティング」を基に、一般社団法人日本補聴器販売店協会と連携して「補聴器適正販売ガイドライン」の作成も行ってまいりました。これらの活動は、当協会の目的である、多くの難聴者に対し適正な補聴器適合技術が駆使されるための補聴器技能者を育成することを一歩前進させるための事業であって、さらに各位がこれらの規範に準拠して行う補聴器装用による QOL の向上の取り組みは、社会福祉の増進と社会の活性化への寄与に必ずや繋がるものと思っております。

協会設立時からの目標である「補聴器技能者の公的資格化」については、公益財団法人テクノエイド協会と業界 3 団体による「きこえの QOL 促進プロジェクト」の中で活動してまいりました。多くの高齢者と関わる介護福祉職の方に補聴器を理解していただけるよう冊子「高齢者介護のための聞こえの基礎知識と補聴器装用」を作成し、また『諸外国の補聴器供給制度と資格制度・教育制度』の調査研究を行いました。そして、これらの成果を活用しながら、難聴者団体や福祉・介護職団体等をはじめとする他団体の方々との交流を通じて公的資格化への応援団を増やす活動も行ってまいりました。

〔会員構成〕

会員の別	期首	期末	増減
一般会員	8名	7名	△1名
資格認定会員	544名	608名	64名
準会員	185名	177名	△8名
賛助会員（法人）	10社	6社	△4社
賛助会員（個人）	7名	7名	0名
特別会員	0名	0名	0名
会員合計	754名	805名	51名

〔事業報告〕

○特定非営利活動に係る事業について

平成 26 年度の重点活動目標として次の 4 項目を掲げて活動しました。

1. 補聴器技能者の育成活動（定款第 5 条第 1 項 1 号①）

- ① HHP 研修会を開催しました。
- ② 会誌「The MiMi Tribune」を発行し、情報提供を行いました。
- ③ 試験直前勉強会を開催しました。

2. 補聴器技能者の普及啓発活動（定款第 5 条第 1 項 1 号②）

- ① 各地の各種団体が主催する講習会へ講師を派遣し、補聴器の正しい知識と認定補聴器技能者を広報しました。
- ② メールマガジンにて最新情報を提供しました。
- ③ ホームページで技能者インタビューを追加掲載して認定補聴器技能者の普及に努めました。

3. 本法人の関連学会・団体との情報交換及び研究等共同事業（定款第 5 条第 1 項 1 号③）

- ① 日本補聴器販売店協会、日本補聴器工業会と当協会の業界 3 団体で合同三役会議を 3 回開催し意見交換を行いました。
- ② テクノエイド協会と業界 3 団体の「きこえの QOL 促進プロジェクト」に参加し、冊子『高齢者介護のためのきこえの基礎知識と補聴器装用』の作成と海外データの収集をおこないました。
- ③ 「補聴器適正販売ガイドライン」の制定に向けて、日本補聴器販売店協会と共同で作成作業を行いました。

4. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条第 1 項 1 号④）

- ① 会員名簿を作成し、関係諸団体への送付や催事等で配布しました。
- ② 各種講習会やイベント等での入会募集活動の強化と、入会キャンペーン（3 名以上の同時入会による入会金の減額）により、93 名が新たに入会しました。

○その他の事業（定款第 5 条第 2 項）

実施しておりません。

〔主な活動内容〕

以下に平成 26 年度の主な活動報告を記します。

- 4 月 ○三役会議 ○第 24 回理事会
- 5 月 ○合同三役会議 ○会計監査会 ○女性会議 WG
○東京医科大学年次フォーラム発表
- 6 月 ○補聴器ライフスタイルフォーラム 2014 参加
○第 25 回理事会 ○第 9 回通常総会 ○HHP 研修会
○日補工主催の意見交換会に参加
○武見敬三参議院議員と業界 3 団体の勉強会
- 7 月 ○広報委員会 ○販売店における補聴効果の確認法に関する WG
○きこえの QOL 促進プロジェクト
- 8 月 ○T. M. T. ※WG ○教育・研修委員会 ○両耳装用検討委員会
- 9 月 ○合同三役会議 ○女性会議 WG ○試験直前勉強会
○武見敬三参議院議員と業界 3 団体の勉強会 ○T. M. T. 8 号発行
- 10 月 ○女性会議 WG ○JHIDA 近畿支部と共同で補聴効果の確認法実技研修会実施
○JHIDA 関東支部と共同で補聴効果の確認法実技研修会実施
○講師相談員派遣
- 11 月 ○武見敬三参議院議員と業界 3 団体の勉強会
○販売店における補聴効果の確認法に関する WG
○総務委員会 ○教育・研修委員会 ○女性会議 WG ○三役会議
- 12 月 ○武見敬三参議院議員と業界 3 団体の勉強会 ○きこえの QOL 促進プロジェクト
○HHP 研修会（女性限定） ○第 26 回理事会 ○T. M. T. WG
- 1 月 ○年始挨拶回り ○合同三役会議 ○福祉用具関係者新年交流会
○販売店における補聴器効果の確認法に関する WG ○T. M. T. 9 号発行
- 2 月 ○三役会議 ○教育・研修委員会

※T. M. T. とは会誌「The MiMi Tribune」のことです。

以上、平成 26 年度の事業報告に当たり、会員各位のご協力に感謝申し上げます。

平成26年度決算報告書

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現金預金			
現 金	504,347		
普 通 預 金	994,348		
郵 便 貯 金	3,324,075		
未 収 会 費	25,500		
流動資産合計		4,848,270	
資産合計			4,848,270
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	132,000		
仮 受 金	10,000		
流動負債合計		142,000	
負債合計			142,000
III 正味財産の部			
正味財産			4,706,270
(うち当期正味財産増加額)			(792,802)
負債及び正味財産合計			4,848,270

※正味財産には設立登記時の資産66,706円を含む。

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額		予 算 - 決 算
I 収入の部				
1 会費・入会金収入				
入会金収入	200,000	169,000		31,000
会費収入	8,766,000	7,848,000		918,000
	8,966,000		8,017,000	949,000
2 事業収入				
育成事業	2,200,000	1,740,440		459,560
普及啓発事業	0	10,000		△10,000
	2,200,000		1,750,440	449,560
3 寄付収入				
寄付金収入	0	40,000		△40,000
	0		40,000	△40,000
4 雑収入				
受取利息	500	528		△28
	500		528	△28
収入合計	11,166,500		9,807,968	1,358,532
II 支出の部				
1 事業費				
育成事業	2,000,000	1,287,434		712,566
普及啓発事業	800,000	550,648		249,352
研究事業	1,000,000	632,520		367,480
	3,800,000		2,470,602	1,329,398
2 管理費				
会議費計	3,700,000	3,200,873		499,127
理事会費	800,000	770,660		29,340
その他会議費	800,000	1,407,833		△607,833
教育・研修委員会	700,000	151,700		548,300
広報委員会	450,000	46,920		403,080
総務委員会	450,000	162,520		287,480
ワーキンググループ等	500,000	661,240		△161,240
総会費	1,000,000	1,159,145		△159,145
旅費交通費	150,000	120,720		29,280
通信費	300,000	191,682		108,318
消耗品費	200,000	326,919		△126,919
図書費	0	12,927		△12,927
支払手数料	10,000	5,530		4,470
賃貸料(家賃)	600,000	600,000		0
租税公課	3,000	0		3,000
顧問料(税理士他)	30,000	0		30,000
事務委託費	900,000	900,000		0
雑費	1,000	524		476
渉外費	50,000	26,244		23,756
	6,944,000		6,544,564	399,436
3 その他資金支出				
雑損失	0	0		0
	0		0	0
支出合計	10,744,000		9,015,166	1,728,834
当期収支差額	422,500		792,802	△370,302
前期繰越収支差額	3,846,762		3,846,762	0
次期繰越収支差額	4,269,262		4,639,564	△370,302

※今年度はその他の事業を実施していません。

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計正味財産増減計算書

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額		
(増加の部)			
資産増加額			
当期収支差額	792,802	792,802	
負債減少額			
増加額合計			792,802
(減少の部)			
資産減少額			
当期収支差額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			792,802
繰越正味財産額			3,913,468
期末正味財産合計額			4,706,270

平成26年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
流動資産			
現 金	504,347		
普 通 預 金	994,348		
郵 便 貯 金	3,324,075		
技能者協会	1,296,215		
JHITA研修会	2,027,860		
未 収 会 費	25,500		
流動資産合計		4,848,270	
資産合計			4,848,270
II 負債の部			
流動負債			
前 受 金	132,000		
仮 受 金	10,000		
流動負債合計		142,000	
負債合計			142,000
正味財産			4,706,270

注記	普 通 預 金	みずほ銀行 神田駅前支店 普通預金 2126161
	郵 便 貯 金	
	技能者協会	振替貯金 00130-5-631089
	JHITA研修会	振替貯金 00180-1-299580
	未 収 会 費	25,500円(3名分)
	前 受 金	会費132,000円 (14名分)
	仮 受 金	振込過足分 10,000円 (1名分)

以上のとおり報告いたします。

平成27年6月24日

特定非営利活動法人 日本補聴器技能者協会

理事長 阿部 秀実

平成26年度事業報告及び計算書類について

厳正なる監査を行った結果、正確かつ妥当であることを認めます。

平成27年5月20日

監事 瀬部 保夫



監事 宮永 好章

